



大津

巨石に
復興の
願い込め



瀬田神社

建立は室町時代1570年ごろ。古くは「割子(わがこ)の水」と呼ばれる清水が湧き出る場所としてにぎわっていました。近年は、南側にある用水路上井手沿いに咲く桜が多くの花見客を楽しませてくれます。

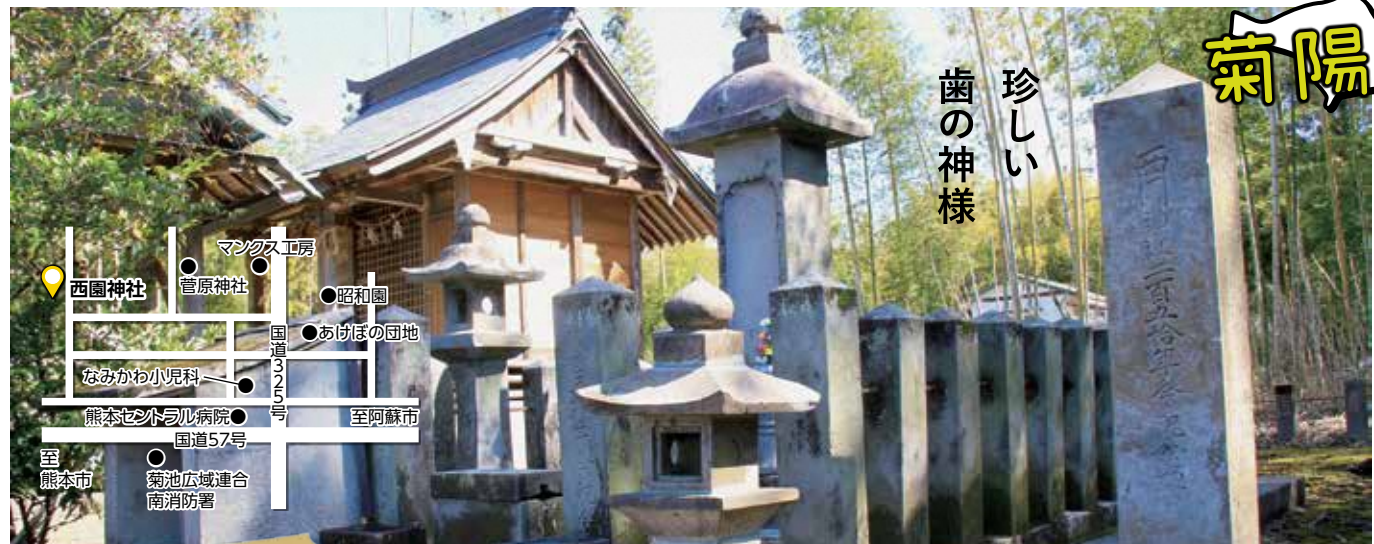
熊本地震の時には、北側の崖から岩が落下し、社殿が倒壊。しかし、地区の住民の手によって昨年3月に再建されました。

落下した岩は周囲18m。地震の記憶を風化させないための教訓として、また、地区を地震から守ってくれた神様としてそのまま残されています。最近では県外からも人が訪れ、自然の力と地震の記憶を伝えています。



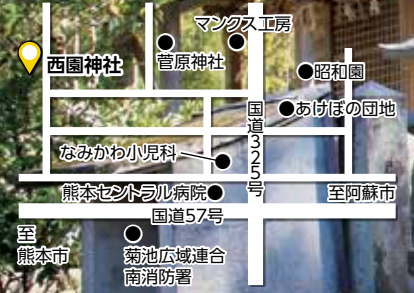
前瀬田区長
合志通夫さん
(瀬田)

駐車場から10分ほど歩きますが、その間も散策できる道になっています。地震後、地区の皆で復興した社殿。そして、舞い降りた巨石にたくさんパワーを感じてほしいです。



菊陽

珍しい
歯の神様



西園神社
西園寺随宜朝臣の墓

菊陽町の古閑原に位置する西園神社。その一角に西園寺随宜朝臣の墓があります。この墓の主である西園寺随宜朝臣(以後随宜さん)は、時の左大臣西園寺実晴(さねはら)の実子で、宮仕えを好まず、入道水村の安福寺を仮の住居として京都から移り住み、この地で一生を終えました。

亡くなった後も地域から愛され、夏と秋には祭事が開催されるほか、月に1回は区民総出で清掃も行われています。

随宜さんは痔、脳病、そして歯の神様としてあがめられ、墓には多くの参拝者が訪れていました。歯などに不調がある人はぜひ参拝してみたいかがでしょうか。



元古閑原区長
相馬武治さん
(菊陽町)

昔は参拝時に豆腐を奉納する風習があり、子どもたちはそれをこっそり食べるのが楽しみでした。町の文化財にも登録されており、歴史を学んで訪問するのも面白いですよ。



菊池地域
合同特集

巡って食べて元気発信!

わがまちパワースポット

私 たちが住んでいる菊池地域(菊陽町)には、有名な観光スポットがあります。でも、隣のまちにどんな場所があるか知らない人も多いのではないのでしょうか。そこで今回は「こんな場所があったのか」と感じてもらえるような、訪れた人が元気になれる「パワースポット」をご紹介します。

地震から2年、菊池地域も各所で復旧が進み、少しずつ元気を取り戻しています。さらに地域を元気にするために、合同特集を企画しました。地域を巡り、魅力を知り、発信して、たくさんの方が地域に関わるきっかけになればうれしいです。

インスタグラムでフォトフリー
パワースポットを巡って地域の元気を世界に発信しませんか。プレゼントあり! 詳しくは9ページをご覧ください。

